

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年11月5日 (2015.11.5)

【公表番号】特表2014-528715(P2014-528715A)

【公表日】平成26年10月30日 (2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2014-530916(P2014-530916)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 0 7 K 14/37 (2006.01)

C 0 7 K 16/14 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 Q 1/68 A

C 0 7 K 14/37

C 0 7 K 16/14

C 1 2 P 21/08

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 Q

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/10

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/569 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月14日 (2015.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 39 または配列番号 40 と少なくとも 85 % が同一であるアミノ酸配列を含む、単離ケカビ目 C o t H ポリペプチド、その免疫原性断片、またはその機能性断片。

【請求項 2】

上記配列番号 39 または配列番号 40 と少なくとも 85 % が同一であるアミノ酸配列からなる、請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 3】

配列番号 40 のアミノ酸配列からなる、請求項 2 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 4】

上記機能性断片は G R P 7 8 と結合する請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 5】

上記機能性断片は、内皮細胞によって発現される G R P 7 8 と結合する請求項 4 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 6】

上記免疫原性断片は、G A G K K H N N A K Q S W N W (配列番号 39) または M G Q T N D G A Y R D P T D N N K (配列番号 40) のアミノ酸配列から本質的に構成される請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 7】

上記免疫原性断片は、担体タンパク質と接合している請求項 6 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 8】

上記担体タンパク質はキーホールリンペットヘモシアニン ( K L H ) である請求項 7 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチドに対する特異反応性を有する、単離抗ケカビ目 C o t H 抗体。

【請求項 10】

モノクローナル抗体である請求項 9 に記載の抗体。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のモノクローナル抗体を産生する、細胞株。

【請求項 12】

ポリクローナル抗体である請求項 9 に記載の抗体。

【請求項 13】

G A G K K H N N A K Q S W N W (配列番号 39) または M G Q T N D G A Y R D P T D N N K (配列番号 40) のアミノ酸配列から本質的に構成されるポリペプチドに対して特異反応性を有する請求項 9 に記載の抗体。

【請求項 14】

請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチドをコードする m R N A に特異的に結合できるアンチセンス核酸を含み、

上記アンチセンス核酸は、上記ケカビ目 C o t H ポリペプチドの発現を効果的に阻害する、組成物。

【請求項 15】

サンプル内のケカビ目有機体の存在を検出するための診断薬を生成するための、請求項 9 に記載の抗体の、使用。

【請求項 16】

薬学的に許容可能な担体と、請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド、請求項 1 1 に記載のアンチセンス核酸もしくは請求項 1 4 に記載の抗ケカビ目 C o t H 抗体からなる一群から選択される化合物とを含む、医薬組成物。

【請求項 1 7】

ケカビ目真菌症に対する免疫性を対象に与えるワクチンとしての使用のための、請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド。

【請求項 1 8】

請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチドと、ケカビ目真菌症に対する免疫性を対象に与えるワクチンとしての使用のためのアジュバントとを含む、組成物。

【請求項 1 9】

ムコール菌症の治療または予防を必要とする対象に対してムコール菌症を治療または予防するための薬剤としての使用のための、請求項 1 6 に記載の組成物。

【請求項 2 0】

上記ケカビ目 C o t H ポリペプチドに特異的に結合する抗体を生成するための、請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチドの、使用。

【請求項 2 1】

配列番号 3 9 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載のケカビ目 C o t H ポリペプチド

。  
【請求項 2 2】

上記抗体は、哺乳類細胞による真菌のエンドサイトーシスを抑制する、請求項 9 に記載の抗体。